

**経営力向上支援事業チーム型支援業務
公募型プロポーザル選定委員会議事要旨**

項 目	内 容
1	日 時
2	場 所
3	出席委員
4	議 題
5	担当部署
6	開催方法
7	議事内容

令和6年3月15日（金）10:00～12:00

Zoomによるオンライン会議システム

広島県商工労働局経営革新課経営支援グループリーダー
 広島県農林水産局販売・連携推進課長
 広島県農林水産局就農支援課長
 広島県農林水産局農業技術課長
 広島県農林水産局農業経営発展課長

令和6年度経営力向上支援事業チーム型支援業務公募型プロポーザルに係る最優秀提案者の選定について

広島県農林水産局農業経営発展課

参集（オンライン）

審査は提案書及びプレゼンテーションの内容により、各選定委員が審査表に基づき採点した。
 得点の最も高かった事業者を選定することに選定委員からの異論はなく、業務予定者をアグリコネクト株式会社に決定した。
 なお、プレゼンテーション時の質疑応答は次のとおり（●：選定委員 ○：事業者）。

【特定非営利活動法人日本プロ農業総合支援機構】

●雇用経営発展チーム型支援について、普及指導員との連携はどのようにするか。
 ○普及指導員は、栽培のノウハウがある。弊社では、経営支援を実施し、連携しながら経営改善計画を作成する。

●課題抽出の具体的な方法について、具体的に説明してください。
 ○日本政策金融公庫の評価システムを活用し、課題について仮説を立てたうえで、農業者へのヒアリングを実施する。

●経営評価システムの研修スケジュールは前倒しできるか。
 ○可能。

●西日本での経営支援事例はどのようなものがあるか。
 ○高知県、岐阜県、宮崎県、鹿児島県の農業者に対して、経営改善計画等の伴走支援を実施してきた。

●広島県での経営支援事例はどのようなものがあるか。
 ○広島県では、経営支援の事例はない。

●県職員への研修事例はあるか。
 ○千葉県の3年目の普及指導員に対して研修を実施したことがある。

	<p>【みらい株式会社】</p> <p>●雇用経営発展チーム型支援について、農業者が雇用に向けて行動を起こせるようにするためにはどのような支援が必要と考えるか。</p> <p>○農業者には、主に2パターンあり、目標とする経営に向けて雇用は最低限必要であると理解しているが、行動に移せていない者と昔ながらの家族経営で、雇用をする習慣がない者。</p> <p>前者には、目標とする経営に向けて、雇用が必要であることを再認識させ、そのために必要な取組について伴走支援していくことが有効である。</p> <p>後者には、事業継承によるマインドセットが有効である。</p> <p>●企業経営発展チーム型支援と雇用経営発展チーム型支援の前半に共通プログラムを設定している理由はなにか。</p> <p>○農業者には、どのレベルの経営であっても共通して「経営の意思決定」が重要であり、共通プログラムではその要素を重点的に伝えていくため。</p> <p>●過去に普及指導員と一緒に業務を実施した経験はあるか。</p> <p>○経験はある。</p> <p>●Ⅲ層、Ⅳ層、Ⅴ層経営体に対し、制度の仕組み導入・運用を確実に行うために必要なことはなにか。</p> <p>○農業者と意思疎通を図りながら、制度の仕組みを作り上げていく中で、農業者が自分で作ったものと認識させること。</p> <p>【アグリコネクト株式会社】</p> <p>●本業務において普及指導員と受託者の役割分担はどのようになるか。</p> <p>○農業者の考えを引き出すことや、農業者の取組について進捗を確認するなど、農業者に寄り添った部分は普及指導員の役割であり、弊社はチームとして取組に対しアドバイスを出していく役割である。</p> <p>●県職員を対象とした経営評価システムの研修について、経営評価システムを使ったことのない県職員に対してこの研修を通してどのように活用させるか。</p> <p>○経営評価システムの使い方、結果の見方、農業者に対するフィードバックのしかたの3つのテーマで研修を実施する。</p> <p>結果の見方では、どの経営評価項目に着眼するかなど、経営コンサルタントが常に見る視点を教示する。</p> <p>●経営評価システムの研修はスケジュールでいうといつ実施するか。</p> <p>○企業経営発展チーム型支援及び雇用経営発展チーム型支援の経営体支援において早期の課題抽出が必要となるため、5月中旬までに計3回を実施する予定。</p>
--	---